

油性ウレタン系塗料 純金箔色プレミアム (内装用)

 スプレーガン (重力式・上付)	50ml	0.3L	1L	4L
---	------	------	----	----

《特徴》

- ・セーリングゴールドは一般のスプレー塗装法でメッキ状の金属塗膜を形成できます。又、一般の金色塗料に比べ変色、退色に優れています。
- ・塗装可能なあらゆる素材に施工ができます。
- ・塗料光沢でなく金属光沢です。
- ・塗膜が光学的には金属組織に非常に近いです。
- ・特殊なトップコート(紫外線カット)により耐光性、耐候性を大幅に向上出来ます。



純金箔色プレミアム:50ml入

《使用方法》

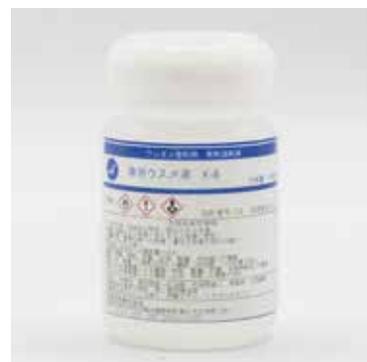
- ・施工面のゴミや汚れを出来るだけきれいに取り除いて下さい。
- ・よく攪拌し、筆又は刷毛やスプレーで塗布して下さい。
- ・そのまま使用出来ませんが薄める場合は専用ウスメ液をお求め下さい。

《塗装箇所》

- ・金属・木・石等(プラスチック類は塗れない場合があります)

《塗装ポイント》

- ・2回塗りで仕上がります。塗装間隔は毎回1時間以上あけて下さい。
- ・塗装後に少し加熱するとより美しく仕上がります。
(70~80℃で15分~20分)



専用ウスメ液:100ml入

《注意事項》

- ・同塗料は経時変化により分離しますので、使用時には原液を十分に攪拌し、専用ウスメ液で希釈後、再度攪拌して下さい。
- ・攪拌不足の場合は綺麗な金色が出ず、銀バリしますのでご注意下さい。
- ・希釈には専用ウスメ液K-8(酢酸エチル系)をご使用下さい。
- ・ウレタン塗料(内装用)は約2~3倍に薄めて下さい。
- ・筆塗りの場合は薄めずに塗っていただいた方が美しくあがります。

塗装方法による光沢の違い

スプレーガン塗装



刷毛塗り



《画像左:スプレーガン塗装》
スプレーガンによる吹付で、刷毛や筆塗りよりも光沢がでます。

《画像右:刷毛塗り》
凹凸のある素地ですと、刷毛や筆塗りでも十分に光沢がでます。

使用に関する情報

スプレーガン	重力式(上付カップ)
	口径1~1.2mm
	吹圧3~4kg
希 釈 剤	専用ウスメ液 K-8(酢酸エチル系)
希 釈 率	200%~
希 釈 剤 容 量	100ml・1L・4L・18L
塗 装 面 積	1L:約6㎡(1回塗)

堀金箔粉株式会社
<https://www.horikin.co.jp>

製品名：セーリングゴールド 純金箔色プレミアム

危険



指針番号 128

国連番号 1263

【危険有害性情報】

- ・引火性の高い液体及び蒸気・飲み込むと有害・皮膚に接触すると有害・吸入すると有害（蒸気）
- ・皮膚刺激・重篤な眼への刺激・遺伝子疾患の恐れ・発がんの恐れ
- ・生殖能又は胎児への悪影響の恐れ・臓器（脾臓、神経、肝臓、血液、腎臓、呼吸器）の障害
- ・臓器（肺臓、腎）の障害の恐れ・臓器（呼吸器）への刺激の恐れ
- ・長期又は反復暴露による臓器（神経、腎臓、肝臓、末梢神経系）の障害
- ・長期又は反復暴露による臓器（血液、神経）の障害の恐れ
- ・水生生物に有害

【注意書き】

予防策

- ・容器を密閉しておくこと。
- ・熱、火花、裸火、高温体のような着火源から遠ざけること。
- ・適切な保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護面、保護衣を着用すること。
- ・容器及び受器を設置すること。
- ・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。
- ・静電気放電に対する予備措置を講ずること。
- ・火災を発生しない工具を使用すること。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・取り扱い後はよく手を洗うこと。
- ・屋外又は換気の良い場所のみで使用すること。
- ・粉塵、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・環境への放出を避けること。

対応

- ・火災の場合：適切な消火方法をとること。
- ・飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師に連絡すること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受けること。
- ・皮膚（または毛）に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。皮膚刺激が生じた場合、医師に診断、手当を受けること。
- ・衣服等に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。
- ・汚染された衣類を再使用する場合：洗濯すること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断、手当を受けること。

保管

- ・容器を密閉して、涼しい所、換気の良い場所に施錠して保管すること。

廃棄

- ・内容物、容器を都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

消防法：危険物 第四類第一石油類 危険等級Ⅱ 業務用 火気厳禁

有機溶剤中毒予防規則：第二種有機溶剤

労働安全衛生法による表示：酢酸エチル・メチルエチルケトン、シクロヘキサノン、エチレンジクロールモノブチルエーテル

表示者の名称及び住所

堀金箔粉株式会社

京都府京都市中京区御池通御幸町東入大文字町 356

TEL：075-231-5357 FAX：075-211-5357